平成 23 年 3 月 18 日

各　　位

会 社 名　　株式会社 ＭＩＥコーポレーション
代表者名　　取締役社長　　永井　賢治
（コード番号　３４４２名証第２部）
問合せ先　　取締役常務執行役員 管理本部長
兼 経営企画部長　志知　信雄
（ＴＥＬ　０５９４－３１－６６６８）

新中期事業計画策定のお知らせ

この度、平成２３年度から平成２５年度を計画対象期間とする新中期事業計画「パワーアップ１０６」を策定いたしましたので、下記の通りお知らせします。

記

Ⅰ　計画策定にあたって

平成 22 年度で終了する中期事業計画「パワーアップ１０３」では、企業価値の更なる向上を基本指針として活動してまいりましたが、この間の当社を取り巻く事業環境は、かつてないほど厳しく、今年度末の見通しでも黒字転換には至らないものの、様々な収益改善策を講じ、経営努力を続けてきました結果、月を追う毎に収益力が回復し前期比では赤字幅を大幅に縮小させております。この収益基盤をより強固なものにするため、新たな中期事業計画「パワーアップ１０６」では基本的な活動のレベルアップを行なうと共に構造改革を断行、グループの力、全社員の力を結集して黒字化･体質強化を行なうこととします。“モノづくり”の「心」を忘れず、MIE グループを活性化した組織にし、“モノづくり”でグローバル化に挑戦することを目指し、下記の基本指針「黒字体質への変革･定着 ー価格に敏感な業務推進ー」を主要課題として取組んでまいります。

Ⅱ　グループ基本指針

《　黒字体質への変革･定着　ー価格に敏感な業務推進ー　》

1. 粗利額のアップ

◇ 販売計画の売上目標、利益目標を達成し粗利を改善する。

販売価格の見直し、不採算取引の改善、付加価値商品の販売強化、調達価格の低減、を徹底し、粗利益の改善を図ってまいります。

2. 調達価格の低減

◇ 商品及び材料仕入価格の低減による粗利率の改善。

相見積もりの実施、まとめ発注の実施、資材在庫の有効利用、OEM 先との連携強化など、見直しを進め粗利益率を改善します。

3. 工場稼働率アップによる利益向上

◇ 海外調達品、外注加工品の内製化推進により工場稼働率を改善し工場収益性を図る。

製品受注減少時はショートエルボ、レジューサ等の内製化、素材カット工程を併せロングエルボの内製化等を行い、工場稼働率の維持向上を図り採算性を高めます。

4. 調達先の品質向上

◇ 品質の維持･改善による MIE ブランドの堅持

海外現地駐在員の継続検査、工程内検査の確実実施にて品質の確保に努め、MIE ブランドの価値を堅持します。

5. コストダウンの推進

◇ 固定費の圧縮

製造拠点、設備の集約、工場レイアウトの変更、人員の圧縮、等々を検討推進し、固定費を削減します。

6. 有利子負債の圧縮

◇ 自己資本比率を改善し財務体質を強化します。

□ 計数目標及び目途

(1)ＭＩＥテクノ単体

単位：百万円

		22/3 期	23/3 期	24/3 期	25/3 期	26/3 期
		実績	今期見込	計画 1 期目	計画 2 期目	計画 3 期目
売上高		2,839	3,150	3,217	3,281	3,347
	溶接継手	1,450	1,743	1,562	1,593	1,625
	フランジ	1,025	1,030	1,398	1,426	1,454
	ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ加工他	364	377	257	262	268
売上総利益		161	560	771	837	873
営業利益		△482	△40	126	182	216
経常利益		△502	△50	88	148	186
売上高経常利益率		△17.68%	△1.58%	2.73%	4.51%	5.55%

(2)MIE グループ連結

単位：百万円

	22/3 期	23/3 期	24/3 期	25/3 期	26/3 期
	実績	今期見込	計画 1 期目	計画 2 期目	計画 3 期目
売上高	3,973	4,200	4,597	4,684	4,771
売上総利益	299	713	971	1,036	1,076
営業利益	△511	△40	206	284	333
経常利益	△534	△70	155	239	293
売上高経常利益率	△13.44%	△1.67%	3.37%	5.10%	6.14%

以上